

経験。第38回北陸医学会総会，1984，9，金沢。

6) 高道昭一，佐藤根敏彦，渋谷伸子，広田弘毅，久世照五，中西拓郎，田辺隆一，大田良子，三宅和宏：麻酔器の定期点検について——第一報——流量計精度の測定。第38回北陸医学会総会，1984，9，金沢。

7) 渋谷伸子，島田雅子，佐々木 均，樋口昭子：重篤な喘息を合併したアレルギー性肉芽腫性血管炎患者の麻酔管理。第38回北陸医学会総会，1984，9，金沢。

8) 中丸勝人，佐々木 均，樋口昭子，佐藤根敏彦，伊藤祐輔，中西拓郎，田辺隆一：大量出血に伴う凝固機能変動とその検査のポイント。第38回中部臨床衛生検査学会，1984，9，富山。

9) 中丸勝人，佐々木 均，樋口昭子，佐藤根敏彦，伊藤祐輔，松田公夫，上村 清，荒川 良：手術部内における微小動物（ダニ）の実態調査と対策。第6回日本手術部医学会総会，1984，10，東京。

10) 高道昭一，佐々木 均，佐藤根敏彦，伊藤祐輔：手術室内環境騒音について。第6回日本手術部医学会総会，1984，10，東京。

11) 奥野政一，佐藤根敏彦，伊藤祐輔：手術部における胸部高圧撮影法とその有用性。第6回日本手術部医学会総会，1984，10，東京。

12) 久世照五，大田良子，林 睦子，伊藤祐輔，中丸勝人：DL- と L- 乳酸リンゲル輸液の比較；とくに血中，尿中の L- と D- 乳酸値の検討。第4回日本臨床麻酔学会総会，1984，11，大阪。

13) 広田弘毅，林 睦子，樋口昭子，久世照五，伊藤祐輔：過去5年間の喘息患者と麻酔中の喘息発作の集計。第36回日本麻酔学会北陸地方会，1984，12，金沢。

14) 高道昭一，樋口昭子，佐藤根敏彦，久世照五，伊藤祐輔：セントラルパイピングの配管づまり検出器の紹介とその活用。第36回日本麻酔学会北陸地方会，1984，12，金沢。

15) 桐山昌子，林 睦子，渋谷伸子，伊藤祐輔，樋口昭子：覚醒時 Shivering に対する各種鎮静薬の効果。第21回新潟麻酔懇話会，1984，12，長岡。

◆ その他

1) 尾山 力，佐藤根敏彦：ペインクリニックにおける漢方。とやま県医報 889：20—23，1984。

薬 剤 部

教 授	堀 越 勇
助 教 授	上 野 雅 晴
助 手	足 立 伊左雄
文部技官	木 村 昌 行
	中 川 輝 昭
	加 野 軒 作
	松 原 利 行
	古 西 清 司
	鳥居塚 和 生
	坂 口 一 夫
	平 手 純 司
	足 立 博 一
	石 塚 安 治
	金 本 郁 男
	吉 松 清 信
	黒 崎 俊 美
	三 村 泰 彦
	安 井 智 美
	安 田 晶 子

◆ 著 書

1) 堀越 勇：薬品管理実務。「病院薬局実務大系 8」田村善蔵他監修，125—135，朝倉書店，1984。

◆ 原 著

1) Sakuragawa N., Takahashi K., Horikoshi I. and Ueno M. : Oral administration of concentrated factor VIII or IX preparation. Acta Med. Biol. (Niigata) 31 : 1—9, 1983.

2) Sakuragawa N., Takahashi K., Horikoshi I. and Ueno M. : Basic studies on oral and rectal administration of factor IX concentrate preparation. Acta Haematol. Jpn. 46 : 190—196, 1983.

3) 鳥居塚和生，本間精一，中川輝昭，木村昌行，上野雅晴，堀越 勇，寺沢捷年：桃核承気湯エキス顆粒剤と煎剤との比較。病院薬学，10，29—34，1984。

4) Matsubara T. and Horikoshi I. : Chemical reactivations of inactivated acetylcholinesterase after 2-PAM therapy in fenitrothion-poisoned rat and rabbit. J. Pharm. Dyn., 7, 131—137, 1984.

5) Matsubara T. and Horikoshi I. : Spontaneous reactivation of mouse plasma cholinesterase

after inhibition by various organophosphorus compounds. *J. Pharm. Dyn.*, **7**, 322—328, 1984.

6) 松原利行, 今村 恵, 安田晶子, 加野軒作, 堀越 勇, 今田屋 章: マウスの酢酸 Writhing 反応に対する桂枝二越婢一湯加苓朮附の影響. *病院薬学*, **10**, 243—246, 1984.

7) 鳥居塚和生, 寺沢捷年, 堀越 勇: 瘀血病態における Fibrinogen Heterogeneity に関する研究 (第1報). *和漢医薬学会誌*, **1**, 52—53, 1984.

8) 村瀬勢津子, 遠山啓子, 関 京子, 加賀谷 肇, 朝長文弥, 中川輝昭: セファロチンナトリウム製剤中におけるウロキナーゼ製剤の安定性, *病院薬学*, **10**, 267—274, 1984.

9) Kita K., Konishi K., and Anraku Y.: Terminal oxidase of *Escherichia coli* aerobic respiratory chain. I. Purification and properties of cytochrome b_{562-0} complex from cells in the early exponential phase of aerobic growth. *The Journal of Biological Chemistry*, **259**, 3368—3374, 1984.

10) Watanabe J., Mizuno S., Masuda N., Hayashi Y., Iwamoto K., Hirate J., and Ozeki S.: Salivary excretion of urea in dogs. *J. Pharm. Dyn.*, **7**, 294—303, 1984.

11) Hirate J., Watanabe J., and Ozeki S.: Effect of convulsions induced by pentylenetetrazole or electricity on the dispositions of creatinine and urea in rats. *Chem. Pharm. Bull.*, **32**, 2781—2787, 1984.

12) Hirate J., Watanabe J., and Ozeki S.: Elimination of creatinine following intravenous administration to chronically CCl_4 -treated rats. *Chem. Pharm. Bull.*, **32**, 2848—2850, 1984.

13) Ueno M., Tanford C., and Reynolds J. A.: Phospholipid vesicle formation using nonionic detergent with low monomer solubility. *Biochemistry*, **23**, 3070—3076, 1984.

14) 足立伊左雄, 安田晶子, 松原利行, 上野雅晴, 寺沢捷年, 堀越 勇: Macrophage procoagulant activity に及ぼす漢方方剤煎液の影響 (第1報). *薬学雑誌*, **104**, 959—963, 1984.

15) Hirate J., Horikoshi I., Watanabe J., and Ozeki S.: Effect of hypothermia and ether anesthesia on the dispositions of creatinine and urea in mice. *J. Pharm. Dyn.*, **7**, 883—890, 1984.

16) Hirate J., Horikoshi I., Watanabe J., Ozeki S. and Nagase S. Disposition of salicylic acid in analbuminemic rats. *J. Pharm. Dyn.*, **7**, 929—934, 1984.

17) Hirate J., Hori K., Iwamoto K., Ozeki S. and Watanabe J.: The change of disposition kinetics for some water-soluble compounds accompanied by growth in mice. *J. Pharm. Dyn.*, **6**: S-92, 1983.

18) Kita K., Konishi K., and Anraku Y.: Terminal oxidase of *Escherichia coli* aerobic respiratory chain. II. Purification and properties of cytochrome b_{558-d} complex from growth with limited oxygen and evidence of branched electron-carrying systems. *The Journal of Biological Chemistry*, **259**, 3375—3381, 1984.

◆ 学会報告

1) Ueno M., Tanford C., and Reynolds J. A.: Ione selectivity of phospholipid vesicle. Membrane group symposium, 1983, 9, Durham.

2) Ueno M., Tanford C., and Reynolds J. A.: Kinetic factors determine vesicle size and permeability. 28th Annual meeting of biophysical society 1984, 2, San Antonio.

3) 楠 逸美, 岩田貴子, 中川輝昭, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: Cyclic AMP analogues による血小板凝集抑制作用および DIC 病態改善効果について. 日本薬学会第104年会, 1984, 4, 仙台.

4) 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: ヘパリンによるリンパ球溶解現象に関する研究. 日本薬学会第104年会, 1984, 4, 仙台.

5) 廬 煒, 足立伊左雄, 中川輝昭, 上野雅晴, 堀越 勇: 猪苓の血小板凝集増強成分の研究. 日本薬学会第104年会, 1984, 4, 仙台.

6) 平手純司, 堀越 勇, 渡辺 淳, 尾関昭二: 薬物の生体内分布 (第22報) 無アルブミンラットにおける ^{14}C -Salicylic acid の生体内挙動. 日本薬学会第104年会, 1984, 4, 仙台.

7) 金本郁男, 小太刀真人, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺沢捷年: 西洋薬の体内動態に及ぼす和漢薬の影響 (第1報) 一家兔におけるフェニトインと柴胡桂枝湯の併用について. 日本薬学会第104年会, 1984, 4, 仙台.

8) 加野軒作, 安田晶子, 大内将人, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 和漢方剤の抗炎症効果 (I) 実験炎症モデルに対する抑制効果. 日本薬学会第104年会, 1984, 4, 仙台.

9) 坂口一夫, 三井健一郎, 小橋恭一, 中井 昇: ウレアーゼの活性部位に存在するシステイン残基周辺の一次構造. 日本薬学会第104年会, 1984. 4, 仙台.

10) 寺沢捷年, 今田屋 章, 土佐寛順, 鳥居塚和生, 三瀧忠道, 坂東みゆ紀: 瘀血病態に関する研究(第二報) —瘀血スコアの分布と血液学的検査について. 第35回日本東洋医学会学術総会, 1984. 5, 鹿児島.

11) 坂東みゆ紀, 寺沢捷年, 鳥居塚和生, 金岡又雄: 生薬成分の血中濃度の定量に関する研究(第一報) グリチルリチン, グリチルリチン酸について. 第35回日本東洋医学会学術総会, 1984. 5, 鹿児島.

12) 本間精一, 鳥居塚和生, 木村昌行, 堀越 勇, 加野軒作, 寺沢捷年: 当院における和漢調剤の諸問題. 第35回日本東洋医学会学術総会, 1984. 5, 鹿児島.

13) 堀越 勇, 上野雅晴, 足立伊左雄, 中川輝昭, 鳥居塚和生, 寺沢捷年: 製剤学から見た漢方剤形. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984. 9, 富山.

14) 坂東みゆ紀, 寺沢捷年, 矢野三郎, 加藤弘巳, 金岡又雄, 平手純司, 堀越 勇: グリチルリチン酸の体内動態に関する研究. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984. 9, 富山.

15) 川尻ゆかり, 寺沢捷年, 今田屋 章, 三瀧忠道, 鳥居塚和生: 血小板アラキドン酸代謝におよぼす和漢薬の効果, 血小板凝集能とMDA値の変動. 第1回和漢医薬学会学術総会, 1984. 9, 富山.

16) 古西清司, 大内将人, 北 潔, 堀越 勇: Photobacterium phosphoreum呼吸鎖末端酸化酵素チトクロム b_{560-d} の精製とその性質. 第57回日本生化学会大会, 1984. 10, 東京.

17) 木下盛敏, 中谷隆正, 坂口一夫, 三井健一郎: アフィニティーゲルによる溶血毒素の精製. 第57回日本生化学会大会, 1984. 10, 東京.

18) 小泉圭之, 足立伊左雄, 上野雅晴, 堀越 勇: ヘパリンの消化管吸収. 第7回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1984. 11, 東京.

19) 山本新一郎, 渡辺 淳, 堀 勝行, 岩本喜久生, 尾関昭二, 平手純司: 薬物の生体内分布(第21報) Ethylene Glycol の生体内挙動における投与量依存性について. 日本薬学会第104年会, 1984. 4, 仙台.

20) 里村 敬, 増田 達, 伊藤祐輔, 金本郁男: ヴェノピリン®投与後の血漿中アスピリン及びサルチル酸濃度の推移について. 第4回日本臨床麻酔学会, 1984. 11, 大阪.

◆ その他

1) 中川輝昭: オフコンによる薬品管理の実際. 医薬ジャーナル, 20, 109—115, 1984.

2) 堀越 勇: 漢方エキス顆粒剤の品質と問題点, 医薬の門, 24, 71—74, 1984.

3) 堀越 勇: 播種性血管内凝固症候群の予防および治療剤. 公開特許公報, 昭59—132237.

4) 鳥居塚和生: 温かい病院を目指す工夫, 「薬剤部門における工夫」……和漢薬調剤の現場からの提言. 病院, 43, 775—777, 1984.